

クロルフェナピル水和剤を用いたホウレンソウケナガコナダニ防除

【要約】夏ホウレンソウ栽培で春・秋に問題となるホウレンソウケナガコナダニ防除において、使用薬剤にクロルフェナピル水和剤を組み合わせることでコナダニ被害低減が期待される。ただし、高温期の使用は葉害に注意する。

中山間農業研究所 試験研究部

【連絡先】 0577-73-2029

【背景・ねらい】

岐阜県飛騨地域の雨よけホウレンソウにおいてホウレンソウケナガコナダニ（以下、コナダニ）の被害が顕在化しており対策が求められている。コナダニは春と秋の比較的低温期に発生が多く、春のコナダニ対策としてはダゾメット粉粒剤の秋冬処理が普及しつつあるが、翌秋のコナダニに対策としては不十分であるため、より効果が期待できる薬剤を用いてコナダニの防除を行う。

【成果の内容・特徴】

- 1 体系防除試験において1回目の防除にクロルフェナピル水和剤を用いた区は被害が少ない（図1）。
- 2 高温期の使用では、葉に白斑状の葉害を生じる場合があるが、2葉までの葉は調製時に除去するため出荷物として問題にはならない（図2、表1）。

【成果の活用・留意点】

展開葉に白斑状の葉害を生じる場合があるため、特に高温時の使用には注意する。

【具体的データ】

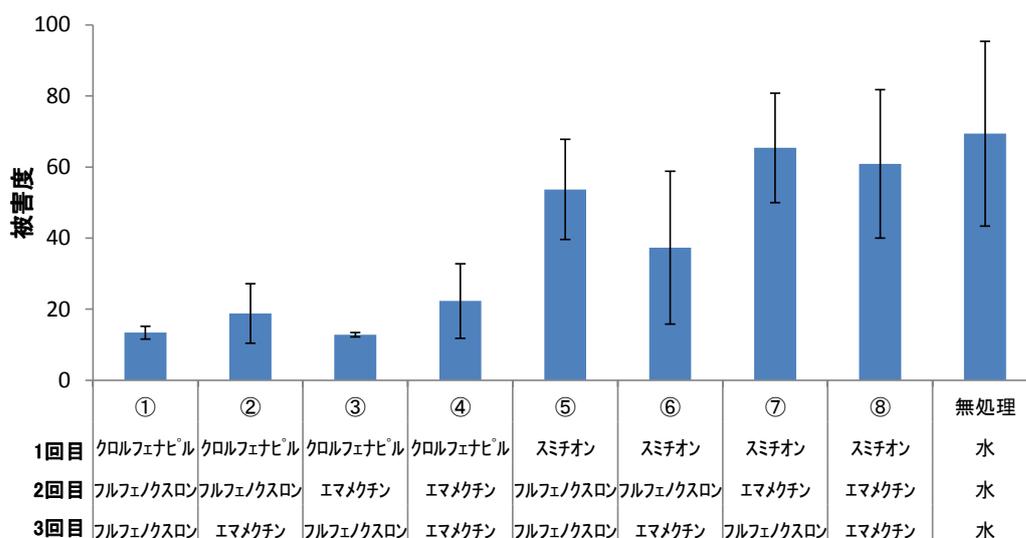


図1 コナダニ被害度(体系防除試験 H26.10.9)

被害度の算出方法：調査株を芯葉まで分解し、下記の被害程度毎に分別し算出。

被害程度 無：被害なしの株数

少：コナダニによる奇形葉2枚以内の株数

中：奇形葉3～4枚で褐変なしの株数

激：奇形葉の数に関わらず中心部が褐変し芯止まりの株

被害度 = (激 × 5 + 中 × 3 + 少 × 0.5 + 無 × 0) / (調査株数 × 5) × 100



図2 クロルフェナピル水和剤の薬害

表1 クロルフェナピル水和剤の登録内容(平成29年2月現在)

適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
ホウレンソウケガコナダニ	4000～ 6000倍	100～ 300L/10a	2葉期まで 但し、収穫14日前まで	1回	散布

研究課題名：温暖化および難防除害虫に対応する夏ホウレンソウ栽培技術の開発

(平成 24～26 年度)

研究担当者：中西文信